

# 資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて 生活科において育成すべき資質・能力の整理（素案）

平成28年3月8日  
 教育課程部会  
 生活・総合的な学習の時間  
 ワーキンググループ  
 資料2

	<b>個別の知識や技能の基礎</b> (生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)	<b>思考力・判断力・表現力等の基礎</b> (生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)	<b>学びに向かう力、人間性等</b> (どのような心情、意欲、態度などを育み、よりよい生活を営むか)
生活 小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■具体的な活動や体験を通して獲得する、自分自身、社会事象、自然事象に関する個別的な気付き</li> <li>■具体的な活動や体験を通して形成する、自分自身、社会事象、自然事象に関する関係的な気付き</li> <li>■具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身体を通して関わり、対象に直接働きかける力</li> <li>■比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える力</li> <li>■試したり、工夫したり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す力</li> <li>■伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な人々や地域に関わり、集団や社会の一員として適切に行動しようとする態度</li> <li>■身近な自然と関わり、自然を大切にしたり、遊びや生活を豊かにしたりしようとする態度</li> <li>■自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとする態度</li> </ul>